

静岡商連 News

第55回総会 第4号



(発行) 静岡市駿河区泉町 7-12-8
松山ビル 2F
Tel.054-283-8885
Fax.054-286-5263
静岡県商工団体連合会



見つけよう

地域の中小業者のブランド力 増税中止・平和を守って商売繁盛

第25回静岡県商工業交流・研究集会

8月28日、第25回目となる県商工交流会を開催しました。16民商と県連から94人が参加、おなじみのバーチャルフェア「業者の顔」写真展と製品展示も同時開催しました。参加者は岩崎邦彦・静岡県立大学教授による基調講演と5つの分科会で、それぞれの商売について考え意見交流しました。

貴重な知識・経験と熱い思いを交流し、強い業者に

大石秀之県連会長は、商工交流会実行委員会を代表し「今年の基調講演は昨年における『引き算』は、目の前の仕事に追われる中ではなかなか実践できていないが、視点を変えるきっかけとして今年もとても楽しみ。いま県では中小企業振興基本条例の制定に向けパブリックコメントを募集しているが、今の条例案は業者を守り育てるといふより、とりあえず条文にしたという感じが否めない。中小企業・業者の発展に何が必要なのか、今後の具体的施策に活かしてもらえよう、今日は存分に学習・交流しよう」と呼びかけました。

引き算の戦略 小さな会社を強くする逆転発想

昨年に引き続き講師を引き継いでくださった岩崎邦彦・県立大学教授、「岩崎先生の話が聞きたくて参加した」という人も多く、参加者のために、商売における『引き算』がより解りやすいレジュメと、参



加者がいち消費者として商売や商品を見るような具体例でお話してくれました。まず「ひき算にひかれる消費者」として「シンプルなお品と機能が多くの商品、それぞれに持つイメージとは」という質問が、岩崎先生から会場の参加者に向けられました。参加者は「シンプル」について、デザインがお洒落、飽きない、自信ある商品といったイメージを出しまし



もらいたい」がために機能をプラスしたがるが、消費者として考えた時、シンプルに比ベネガティブなイメージの方が強い傾向にあることを改めて感じさせられました。

『足し算』を広げること』は、他社との重なりやライバルも増えるが、『引き算』磨くこと』は他社との差別化、圧倒的な人間は、自分に足りなくて他人が持っているものに目が行く。自分の芝生をもつと青くすることで生み出すものがある」というお話には、商売に限らず、人の生き方そのものに対しても共通することだと深く考えさせられました。

「引き算」磨くことの実践とは

岩崎先生の講演終了後は質疑応答を行いました。昨年に引き続き参加したという男性は「商売をしながら、急に商品や扱うものを減らすことは難しい。『引き算する勇氣』はとても大事なことだと思うが、実践するためにどの位の期間が必要なのか」という質



た。逆に「多機能」について、めんどう、使いこなせないといったイメージを出しました。作り手側としては「消費者に『買って良かった』と思ってもらうが、伝わらないアピールだとしたら無駄なものになってしまう。お客がお客を呼ぶクチコミほど強いものはなく、地域でアピールできるのは中小零細企業の強みでもあり、広告宣伝ゼロで売上を伸ばしたところもある。ぜひ頑張ってください」と参加者にエールをおくりました。

この他、参加者の実際の商売に基づいた具体的な悩みなども出され、その一つ一つに丁寧に対応していただきました。静岡民商の繁田敏子さんは「先生の資料はシンプルの中に重要なことが書かれていてとても分かりやすい。私の家は依然建材屋をやっており数種類のトラックがあった。当時、使わない車両数台を『もうやめたらどうか』と夫に言ったが、『使うときがあるかもしれない』と反対されたが何も言えなかった。あの時、他の発想があったらと思うと、もっと早く先生の話を聞きたかった」と、現在の商売（惣菜販売）への希望と共に感想を語りました。



第25回静岡県商工業交流・研究集会



会した若い業者の明るく生き生きとした表情や、汗を流しながら真剣に作業しているベテラン業者の横顔から、商売に掛ける夢や情熱が伝わってきました。



から交流しました。

製品展示・商売PRコーナーには伊藤新三さん(静岡・美和焼)、山本秀樹県連副会長(浜松・鉄工)、村松成則さん(浜北・段ボール製造)、小澤彰一さん(島田・木工業)の4人が出展してくれました。参加者は出展者に質問などしながら、美しい色合いの美和焼や精密なそれぞれの製品を手に取り質問などしながら交流しました。



午後は4つの分科会と講座で参加者が交流討論しました。各分科会参加者からの報告を紹介します。

第1分科会 仲間の知恵と工夫から、伸ばそう商売・売上を

杉山均さん(美容・三島民商)

とても思いつかない、誰にでもできることではない発想で商売をしている人もいて、驚きと感心でいっぱいだった。磐田の獣医の後藤さんの「種雄牛“遠州石松”の精液」の話、沼津の井深さんの無農薬で繊維を作り衣食住だけでなく遊びまで考え、インターネットやクチコミを利用した取り組みなど、午前の岩崎先生のお話を実践していて凄いなと思った。年配の人はインターネットという及び腰になりがちだが、そういうものにも挑戦していかなければと思いました。



食品の安心安全を第1に考え30年以上前に始めた第二創業のお話や、これまでの鉄工業をやめ同じ土地で老人福祉の仕事で地域に貢献したいという思い、これから商売をどうしていくか等、それぞれの思いを切り出し合えた分科会だった。交流の中で写真の一つの本にまとめたという話が出て、印刷・写真をやっている清水の横田さんと盛り上がった。自分はこのことをやっている、こんなことをやってほしい、こんな業者はいないだろうかという情

第2分科会 第二創業で経営改善、商売繁盛

山本秀樹県連副会長(鉄工・浜松民商)

食品の安心安全を第1に考え30年以上前に始めた第二創業のお話や、これまでの鉄工業をやめ同じ土地で老人福祉の仕事で地域に貢献したいという思い、これから商売をどうしていくか等、それぞれの思いを切り出し合えた分科会だった。交流の中で写真の一つの本にまとめたという話が出て、印刷・写真をやっている清水の横田さんと盛り上がった。自分はこのことをやっている、こんなことをやってほしい、こんな業者はいないだろうかという情

報の交換が、考えてもみなかったチャンスが出るきっかけになると思います。

第3分科会 静岡県料飲サミット

平塚倫豊さん(清水民商事務局長)

袋井の加藤友和さんの商売の話がとても印象的だった。袋井駅前で牡蠣専門の居酒屋を経営ということで、牡蠣に特化し、牡蠣に合うワインを提供しているとのこと、加藤さんは午前は参加できなかったというが、すでに岩崎先生の「引き算」を実践していて凄いなと思った。また、同じく飲食業の小笠掛川の有海幾雄さんは、「地元掛川にな

い商売」をモットーに創業し、今も常に新しいアイデアを取り入れていくことを信念にしている。楽しみながら商売をやっている様子で聞いているこちらも楽しい話を聞かせてもらえました。



第4分科会 ビジネスマナーで営業力アップ

宮城島正さん(野菜小売・三島民商)

参加者が9人と、とても少なかったがその分講師の阿部よしみさん(静岡民商)から参加者一人一人が具体的なアドバイスを受けることができた。表情の作り方から姿勢まで、さらに会場内を2、3周歩いて回り正しい歩き方も指導してもらった。全ては営業力に繋がっており、ビジネスマナーはとても大事、毎日が商売だと改めて感じた。とても楽しい分科会でした。

講座「補助金の申請と獲得」

松浦大悟さん(電気工事・小笠掛川)



講師の中小企業診断士・大石徳夫さんから申請する際の大事な点などを教わりました。その中で「大

事なのは自分の会社の強みを考えること」と何度も出てきて、午前の岩崎先生のお話に引き続きとても考えさせられました。自分は目の前のことをやるのが精一杯だったので、改めて自分の商売について深く考えてみようというきっかけになりました。申請資料を書く際、専門性を長々と書いてしまいがちだが、見る人が見やすいようにグラフなども使うことや、市場のニーズや世界経済についても知り、狭い視点でなく広い視野で根拠となるデータを基にやるのが大切だと教わった。アテンナを伸ばして頑張りたいと思いました。



2016年9月1日~9月30日

までの主な会議・行動

- 2日~3日 全商連第2回常任理事会
- 3日~4日 全商連第1回理事会
- 7日 県連第3回三役会
- 8日 民商青年部担当事務局会議
- 11日 県連第1回理事会
- 12日 婦人部担当事務局会議/県婦協幹事会④
- 倉敷民商弾圧事件・静岡の会 事務局会議
- 13日 県連共済会第1回理事会
- 14日 新入事務局研修①
- 16日 共済専務理事会議/全中連幹事会・省庁
- 18日~19日 第14回全国業者青年交流会
- 21日 勤労者通信大学・憲法コース②
- 23日 9.23久保山愛吉氏追悼焼津行動
- 24日 都市型サービス、ものづくり部会
- 26日 県社会保障推進協議会運営委員会
- 消費税廃止県各界連・社保協同宣伝
- 28日 大運動対県交渉実行委員会/県連三役会④

